



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東京會館

コード番号 9701 URL <http://www.kaikan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤原 幸弘

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 鈴木 輝伯

TEL 03-3215-2111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,217	△10.9	△406	—	△391	—	△251	—
23年3月期第2四半期	4,735	0.0	△121	—	△106	—	△147	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △259百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △260百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△7.52	—
23年3月期第2四半期	△4.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	12,369	7,458	60.3
23年3月期	12,797	7,801	61.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,458百万円 23年3月期 7,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	2.50	2.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	△2.9	△100	—	△60	—	△30	—	△0.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	34,639,434 株	23年3月期	33,639,434 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,199,844 株	23年3月期	1,197,282 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	33,441,277 株	23年3月期2Q	33,447,555 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・	2
（3）連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・	3
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・	3
3. 四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・	4
（1）四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・	6
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・	8
（4）継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・	10
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災や原子力発電所の事故の影響により企業の生産活動の停滞や輸出が落ち込み、また、個人消費の低迷などにより、国内景気は大きく後退いたしました。その後、大震災の打撃を受けたサプライチェーン（供給網）の復旧が進み、一部に景気回復の兆しがみえ始めているものの、欧米の財政不安や海外景気の減速、円高や株安の影響が懸念されるなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループの営業は、同業他社との販売競争が一段と激化するなかで、お客様のニーズに対応した新商品の販売促進、各種イベントやフェアの開催など、売上拡大に向けてグループ一丸となって積極的な営業活動に取り組みました。しかしながら、大震災の影響により、宴会、食堂など各部門とも、自粛ムードの広がりに伴い、法人・個人とも需要が低迷し、過去に例をみない予約の取り消しなどが相次ぎ、加えて、猛暑や台風などの影響もあり、かつてない厳しい状況が続き、売上は急激に落ち込みました。

宴会部門につきましては、一般宴会は、法人および個人へのセールス活動を強化するとともに、ディナーショーや落語会など各種イベントを企画販売し、売上増加に努めましたが、大震災後、自粛ムードが広がり、企業や団体の予約の取り消し等が相次ぎ、売上は減少いたしました。一方、婚礼につきましては、当社ならではの強みや特色を活かした高級感のあるブライダルフェアを頻繁に開催し、加えて宣伝活動の充実を図るなど、婚礼組数の確保に努め、これまで堅調に推移してまいりましたが、大震災の影響による延期や規模の縮小などにより伸び悩みました。

食堂部門につきましては、周辺地域の多様なレストランとの競争が激化するなかで、本館をはじめ各店舗ともそれぞれの特色を活かしたメニューの提供や多彩なフェアを企画販売するなど積極的な営業活動を推し進めました。しかしながら、宴会同様、大震災の影響による自粛ムードのなか、企業の接待利用の減少や個人需要の低迷、加えて異常気象や本館においては夏場の節電対策による休業もあって売上は減少いたしました。

この結果、連結売上高は、4,217百万円（前年同四半期比10.9%減）となり、経費面におきましては、引き続き徹底した原価管理と人件費をはじめ諸経費の削減、業務全般の効率化を推し進めました。しかしながら、前述の大震災による急激な売上の落ち込みに加えて、夏場の不需要期を含む季節的要因もあり、連結営業損失は、406百万円、連結経常損失は391百万円、連結四半期純損失は251百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比427百万円（3.3%）減少して、12,369百万円となりました。流動資産は同460百万円（23.3%）減少の1,511百万円、固定資産は同33百万円（0.3%）増加の10,858百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、売掛金が48百万円増加し、現金及び預金312百万円、有価証券199百万円がそれぞれ減少したことなどによります。

固定資産のうち有形固定資産は、130百万円減少の7,551百万円となり、その主な要因は、本館機械室用空調機改修などで115百万円増加し、減価償却実施額や資産の除却で減少したことなどによります。

投資その他の資産は、163百万円増加の3,302百万円となり、その主な要因は、繰延税金資産が増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末比 83 百万円（1.7％）減少して 4,911 百万円となりました。流動負債は同 76 百万円（5.4％）増加の 1,490 百万円、固定負債は同 160 百万円（4.5％）減少の 3,421 百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、未払金 78 百万円、買掛金 20 百万円がそれぞれ増加し、未払消費税等が 31 百万円減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末比 343 百万円（4.4％）減少して 7,458 百万円となりました。主な要因は、配当の支払いを行い、四半期純損失を計上したことなどによります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における業績の進捗状況を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成 23 年 5 月 13 日に発表いたしました平成 24 年 3 月期の連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（Ａ） （平成 23 年 5 月 13 日発表）	百万円 9,470	百万円 390	百万円 340	百万円 160	円 銭 4.78
今回修正予想（Ｂ）	9,700	100	60	30	0.90
増減額（Ｂ－Ａ）	230	290	280	130	—
増減率（％）	2.4	—	—	—	—
（参考）前期実績	9,993	130	163	17	0.54

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,026,235	714,026
売掛金	450,660	499,518
有価証券	199,908	-
商品及び製品	47,926	43,734
仕掛品	4,899	6,440
原材料及び貯蔵品	78,219	77,425
繰延税金資産	59,556	56,666
その他	107,175	115,639
貸倒引当金	3,111	2,297
流動資産合計	1,971,469	1,511,151
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,045,817	3,919,134
機械装置及び運搬具（純額）	134,820	144,383
工具、器具及び備品（純額）	418,858	405,025
土地	3,083,082	3,083,082
有形固定資産合計	7,682,580	7,551,625
無形固定資産		
電話加入権	5,084	5,084
無形固定資産合計	5,084	5,084
投資その他の資産		
投資有価証券	791,245	790,738
繰延税金資産	1,417,201	1,573,015
その他	936,654	945,241
貸倒引当金	6,980	6,908
投資その他の資産合計	3,138,121	3,302,087
固定資産合計	10,825,785	10,858,797
資産合計	12,797,255	12,369,949

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	171,191	191,280
短期借入金	380,000	380,000
未払金	338,496	416,648
未払法人税等	25,010	19,771
賞与引当金	106,810	104,760
資産除去債務	-	664
その他	391,754	377,036
流動負債合計	1,413,263	1,490,162
固定負債		
退職給付引当金	2,939,271	2,872,347
資産除去債務	78,429	78,085
その他	564,410	471,050
固定負債合計	3,582,110	3,421,482
負債合計	4,995,374	4,911,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,700,011	3,700,011
資本剰余金	3,654,271	3,654,271
利益剰余金	996,575	661,345
自己株式	448,615	449,373
株主資本合計	7,902,242	7,566,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,361	107,950
その他の包括利益累計額合計	100,361	107,950
純資産合計	7,801,881	7,458,304
負債純資産合計	12,797,255	12,369,949

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	4,735,904	4,217,350
売上原価	4,294,460	4,043,202
売上総利益	441,443	174,148
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	284,810	299,310
賞与引当金繰入額	11,050	10,700
その他	266,880	270,871
販売費及び一般管理費合計	562,740	580,882
営業損失 ()	121,297	406,734
営業外収益		
受取利息	836	521
受取配当金	11,520	10,462
生命保険配当金	2,064	2,603
その他	5,103	6,160
営業外収益合計	19,524	19,747
営業外費用		
支払利息	2,870	2,859
コミットメントフィー	1,375	1,375
その他	143	143
営業外費用合計	4,389	4,377
経常損失 ()	106,162	391,364
特別損失		
固定資産除却損	4,025	4,243
固定資産処分損	10,063	2,203
災害による損失	-	7,704
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	77,096	-
投資有価証券評価損	7,190	-
特別損失合計	98,375	14,151
税金等調整前四半期純損失 ()	204,538	405,516
法人税、住民税及び事業税	6,148	5,274
法人税等調整額	63,581	159,165
法人税等合計	57,432	153,891
少数株主損益調整前四半期純損失 ()	147,105	251,624
四半期純損失 ()	147,105	251,624

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	147,105	251,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113,561	7,589
その他の包括利益合計	113,561	7,589
四半期包括利益	260,667	259,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,667	259,213

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 ()	204,538	405,516
減価償却費	238,015	242,679
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	77,096	-
退職給付引当金の増減額 (は減少)	110,428	66,923
賞与引当金の増減額 (は減少)	2,600	2,050
貸倒引当金の増減額 (は減少)	583	885
受取利息及び受取配当金	12,356	10,983
支払利息	2,870	2,859
支払手数料	1,375	1,375
投資有価証券評価損益 (は益)	7,190	-
有形固定資産除却損	4,025	4,243
売上債権の増減額 (は増加)	160,826	48,846
たな卸資産の増減額 (は増加)	3,184	3,409
その他の流動資産の増減額 (は増加)	6,882	6,922
仕入債務の増減額 (は減少)	32,510	20,088
その他の流動負債の増減額 (は減少)	34,582	47,789
長期未払金の増減額 (は減少)	-	92,360
その他	23,261	679
小計	120,759	312,720
利息及び配当金の受取額	12,214	10,911
利息の支払額	2,857	2,856
法人税等の支払額	6,222	5,406
営業活動によるキャッシュ・フロー	123,893	310,072
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	180,000	80,000
定期預金の払戻による収入	180,000	180,000
有価証券の取得による支出	599,737	-
有価証券の償還による収入	409,922	200,000
投資有価証券の取得による支出	10,487	848
有形固定資産の取得による支出	151,583	104,290
貸付けによる支出	3,400	4,800
貸付金の回収による収入	5,183	5,532
保険積立金の積立による支出	959	34,187
保険積立金の払戻による収入	6,558	20,582
投資活動によるキャッシュ・フロー	344,502	181,988

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	1,634	757
配当金の支払額	83,122	83,367
財務活動によるキャッシュ・フロー	84,757	84,125
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	305,367	212,209
現金及び現金同等物の期首残高	891,093	696,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	585,726	484,026

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日)

該当事項はありません。